

平成30年度 事業報告

1 総括

平成30年度は、成田空港活用協議会の新たなステージの初年度として、会員の新たなビジネス展開に資する連携・協働の事業や情報の提供への取り組みとともに、当協議会の会員の強みを生かしたプラットフォーム機能の一層の発揮を通して、千葉県経済の活性化に寄与することを念頭に事業展開を図った。

事業展開においては、(1) 会員自身による事業・施策の創出と自走化 及び (2) 「オール千葉」の力を発揮するための会員の連携や協働 を事業方針に据え、6つの事業テーマ (①空港周辺・圏央道等への産業集積を促進する事業、②成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業、③県・市町村が地方創生関連事業と連携・連動した事業、④東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業、⑤県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業、⑥過去5年間の成果を更に拡大していく事業) ごとに事業を行った。

会員からの新規提案として、「アジア経済圏におけるマーケティング」、「アクティビティ (体験型) 商品開発」、「ユニバーサルツーリズムの促進」、「航空/空港関連企業との商談会」に関する事業を実施した。

また、「空港利用促進PR」などの継続事業についても、会員との連携・協力のもとに取り組んだ。

なお、一部事業については、当初予算に計上したものの、その後の社会的背景や関係機関の動向などの変化を踏まえ、その実施を見送らざるを得なかった。

2 事業の概要

(1) ビジネス支援事業

○ アジア経済圏におけるマーケティング

[成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業]

現地消費者を対象に定量・定性調査を実施、分析することで、県内誘客・県産品の認知拡大を促進する。

本年度においては、現地消費者の千葉県に対する観光/購買ニーズの可能性を探り、次年度以降の施策に繋がるデータの収集及び分析を目的とした現地消費者調査を実施した。

調査期間：平成31年2月1日～3月22日

調査方法：アンケート調査及びヒアリング調査

調査国：6か国（台湾、香港、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア）

- 提案会員の持つノウハウを活用することで、アジア経済圏現地消費者の中でも特に訪日リピーターや日本に興味を持つ消費者のデータを収集することができた。

○ アクティビティ（体験型）商品開発

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

アクティビティ（体験型）の公募とモニターツアーの実施により、コンセプト設定とマーケティング戦略を構築し、新たな商品展開を目指す。

本年度においては、本事業に参加する会員を公募により選定し、モニターツアーの実施に向け、選定した会員と連携しアクティビティ商品の開発を進めている。

公募期間：平成30年11月19日（月）～12月12日（水）

応募総数：7事業者、9提案

選定結果：本採択事業者4、連携事業者2

- 事業参加会員を公募したことにより、インバウンド誘客に高い意欲を持つ会員を選定することができた。

○ 航空/空港関連企業との商談会

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

航空／空港関連事業者と県経済界のビジネスマッチングを行うことで、成田空港を起点とした新しいビジネス（取引）の実現を図る。

本年度は、日本航空関係先企業の参加のもと、会員を含む県内企業との商談会を開催することで、県経済の活性化及び航空／空港関連事業との取引機運醸成を図った。

開催にあたっては、魅力的な商品は持つものの商談会に不慣れだという事業者の参加も想定して、事前研修や個別アドバイス等を実施し、千葉の魅力がより良く伝わるよう努めた。

日 時：平成31年3月19日（火）10時～16時50分

（午前の部・午後の部の2部制）

場 所：ホテル日航成田

参加者：バイヤー8社（10部門）、サプライヤー56社

- 普段なかなか接することのない日本航空関連企業との商談の場を設けることにより、県内企業・生産者が行う商品開発・販路開拓に新たな視点をもたらすこと

ができた。また、当日持たれた全商談のうち、約80%の商談についてバイヤーから継続的な商談の可能性が高いと評価されるなど、参加事業者の販路拡大のよいきっかけを作ることができた。

○ ランドオペレーターとの商談会

【成田空港を活用した新しいビジネス創出を促進する事業】

当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行客の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げ、アジアからの観光客の更なる増加を目指すため、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの商談会を実施した。

実施日：平成31年2月25日（月）

会 場：マロウドインターナショナルホテル成田

参加者：ランドオペレーター 15社

会員企業・団体 31団体（社）

（千葉インバウンド促進協議会会員を含む）

➤ 千葉インバウンド促進協議会との共催により、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことができた。

○ ユニバーサルツーリズムの促進

【東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする時機を捉えた事業】

オリ・パラへの対応や高齢者層の増加を見据え、ユニバーサル対応への準備を契機として、ニーズの掘り起こしを行い、新たな商機につなげる。

本年度においては、ユニバーサル対応への準備を図る意識を醸成するとともに、ニーズの掘り起こしを行い、新たな商機につなげることを目的に、千葉県観光物産協会等と連携して、座学セミナー、フィールドワーク、モニターツアーを実施した。

①座学セミナー

日 時：平成30年7月13日（金）

場 所：ホテルポートプラザ千葉

内 容：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る

障がい者サポートガイドの解説

体験（車いす、アイマスクを使用した疑似体験）

講師 KNT-CTホールディングス（株）

事業戦略統括部課長 澁山 知弘氏

②フィールドワーク

日 時：平成30年9月28日（金）

場 所：香取市内

内 容：「ユニバーサルツーリズム」という考え方

国内外のツアー事例を通じて工夫を知りヒントを探る

フィールドワークの目的について

講師 KNT-CTホールディングス（株）

事業戦略統括部課長 澁山 知弘氏

③モニターツアー

日 時：平成31年3月7日（木）

行 程：成田山新勝寺⇒マロウドインターナショナル成田ホテル⇒さわら雛めぐり

内 容：モニターツアー参加者に同行しながら、意見交換を行う。

➤ 座学・フィールドワーク・モニターツアーを通じて、ユニバーサルツーリズムに対する機運醸成が図られた。

○ 将来的な人材育成を行うための調査・検討

【県内大学等の教育機関等と連携した人材育成や知見の活用を目指す事業】

成田空港の機能強化に伴って、航空機発着回数の50万回化が期待されているが、その前提条件として空港内の雇用を確保しなければならない。そのためにも、成田空港関連企業の雇用の現状及び今後の雇用ニーズを明らかにするとともに、成田空港に若い人材を輩出している県内の大学及び高校などの教育機関と連携体制を確保する必要がある。

このため、成田空港の雇用拡大に向けた基礎調査として、成田空港関連企業の雇用ニーズと県内教育機関の成田空港に対する期待及び連携の可能性などを明らかにし、今後の課題や方向性を探ることを目的に「成田空港関連企業の雇用ニーズ調査」を実施した。

[調査の内容]

○成田空港関連企業

調査期間：平成31年2月4日～2月20日

調査方法：アンケート調査

調査対象：542社（うち有効回答数133社）

○教育機関

調査期間：平成31年2月22日～3月8日

調査方法：ヒアリング調査

調査対象：県内大学2校、県内高校2校

- 成田空港の機能強化に伴う雇用拡大が見込まれるなか、今後の課題や方向性を探るための基礎資料を得ることができた。

○ 県内観光情報・成田空港の魅力発信

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

WEB等を活用した国内外に対する県内観光情報の効果的な発信及び地域における成田空港の魅力発信を行う。

本年度においては、昨年度から引き続き、訪日外国人の県内誘客を企図し、多言語発信対応WEBサイトでの魅力発信を継続した。

テーマ：「千葉県の温泉」、「レンタカーで行く千葉県」、「千葉県固有の食文化」、「千葉県の歴史／文化体験施設」

媒体：外国人向けウェブマガジン「Matcha」

配信言語：8か国語（英語、中文繁体、中文簡体、タイ語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語）

- 平成29年度に実施したインバウンド周遊動向調査の結果に基づいて記事を作成した結果、内容をしっかり読まれる記事配信ができた。

○ 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

「周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～」の実施

平成29年度に実施した「千葉県インバウンド周遊動向調査」の調査結果について、会員のビジネスチャンスやインバウンド施策につなげるため、「周遊データ

を活用したインバウンドビジネスの成功戦略～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～」と題したセミナーを平成30年度総会に併せて開催した。

実施日：平成30年5月25日（金）

会 場：オークラ千葉ホテル

内 容：テーマ「周遊データを活用したインバウンドビジネスの成功戦略～千葉県インバウンド周遊動向調査報告～」

講師 （株）ちばぎん総合研究所 調査部長 関 寛之氏

参加者：132名

- 「千葉県インバウンド周遊動向調査」の調査結果を説明し、平成28年度調査においてインバウンド誘致のために必要な取り組みとして挙げた4つの方向性をベースに、今回の調査結果の要素を加え、インバウンドビジネスの成功戦略について提言をいただいた。

○ 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

「外環道千葉県区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向」の実施

平成30年6月2日に外環道三郷南IC－高谷JCT間が開通したことを受け、千葉県・成田空港と関東一円がより便利につながることの経済効果を考えるとともに、外環道との結合が予定されている北千葉道路の開通への期待感を醸成するため、「平成30年度第2回県内経済活性化ビジネスセミナー～外環道千葉県区間開通により期待される地域活性化効果と発展方向～」を開催した。

このセミナーでは、国、地元商工会議所、近隣物流関連企業の講演に加え、開通したばかりの外環道松戸IC－高谷JCT間を実際に走行し、成田空港と東葛飾地域がより短時間でつながる意義・効果を体感するバスツアーも併せて実施した。

実施日：平成30年6月4日（月）

会 場：千葉県東葛飾合同庁舎会議室

内 容：

- ①テーマ「首都圏における外環道の重要性・整備効果と今後の整備の展望等」

講師 国土交通省関東地方整備局道路部道路企画官 鈴木 通仁氏

- ②テーマ「外環道の開通により期待する効果」

講師 松戸商工会議所 専務理事 薄葉 博司氏

③テーマ「最新鋭の物流施設展開と社会インフラ（高速道路・空港）の活用」

講師 プロロジス開発部 部長 村上 隆志氏

参加者：76名

- それぞれの立場からの講演を通じて、道路をはじめとしたインフラ整備の効果・必要性を実感し、東葛飾地域と成田空港とを直結する北千葉道路の早期開通の必要性を再認識した。

○ 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

「成田空港から地方創生を考える」の実施

成田空港を中心として生まれる人・物・財の流れを、県内各地域で取り込まれている地方創生の動きとどのように連携させるべきかを考えるため、地域振興に深い知見を持つ藻谷浩介氏（㈱日本総合研究所主席研究員）を講師としてお迎えし、「平成30年度第3回県内経済活性化ビジネスセミナー～成田空港から地方創生を考える～」を開催した。

実施日：平成30年10月31日（水）

会場：京成ホテルミラマーレ

内容：テーマ「成田空港から地方創生を考える」

講師 （株）日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介氏

参加者：87名

- 千葉県が活かしていくべき地域資源のアドバイス等、国内で取り組まれている先進事例等を例に、これからの県内各地域の目指す方向性について提言をいただいた。

（2）空港利用促進事業

○ 空港利用促進PR

【過去5年間の成果を更に拡大していく事業】

新規就航等の時機を捉えたPRとして、会員及び就航先と連携し、空港利用促進や千葉県の魅力等を紹介するプロモーションを実施した。

・ジェットスター・ジャパン長崎線新規就航関連

日 程：平成30年10月20日（土）～21日（日）

イベント名：KTN×FMの日 Lovefes 2018

会 場：長崎水辺の森公園（長崎市）

内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、
抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング及びステージイベント
出演

・ジェットスター・ジャパン高知線新規就航関連

日 程：平成31年3月9日（土）～10日（日）

イベント名：土佐の「おきゃく」2019

会 場：高知市中央公園（高知市）

内 容：PRブースでの成田空港・千葉県の魅力紹介、パンフレット等の配布、
抽選会の実施、チーバくんによるグリーティング、ステージでのPR

➤ 多くの人々が集うイベント会場で、成田空港の持つ豊富な航空ネットワークや
交通利便性及び千葉県の魅力等をPRすることができた。

（3）基本的な取組

○ 要望活動

・首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

昨年度に引き続き、圏央道及び北千葉道路の整備推進に関する要望活動を、
関係2団体とともに、国等関係先に対して行った。

実施日：平成30年11月20日（火）

要望先：財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官、主計局長、
国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務
次官、道路局長、財務省・国土交通省幹部職員及び県選出国會議員

同時に要望した関係団体：千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

○ 会員相互の情報共有

○ 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより、各種

メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

- 協議会の会員向けにメール等での情報発信を行い、会員間における活動状況や成果の共有を図った。
- 会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。

○ 事業の見直し（会員提案の検討・実施）

○ 会員提案の募集

平成30年度事業に係る本県の経済活性化につながる取組として、他の会員との連携・協働により取り組みたい事業の提案及びセミナー等の要望について、募集した。（なお、会員からの事業提案は随時募集している。）

募集期間：平成29年12月26日（火）～平成30年1月31日（水）まで

提案状況：① 会員からの事業提案（46件）

② セミナー等要望（5件）

③ 自由意見（5件）

○ 会員提案の検討・具体化

平成30年度事業として、以下の会員提案を事業化し実施した。

- ・アジア経済圏におけるマーケティング
- ・アクティビティ（体験型）商品開発
- ・航空/空港関連企業との商談会
- ・ランドオペレーターとの商談会
- ・ユニバーサルツーリズムの促進
- ・将来的な人材育成を行うための調査・検討
- ・県内観光情報・成田空港の魅力発信

(参考) 会議等の開催状況

(1) 総会

期 日：平成30年5月25日（金）

場 所：オークラ千葉ホテル

- 議 題：① 平成29年度事業報告について
② 平成29年度収支決算について
③ 平成30年度事業計画（案）について
④ 平成30年度収支予算（案）について

(2) 幹事会

【第1回】

期 日：平成30年5月10日（木）

場 所：千葉県経営者会館2F 特別会議室

- 議 題：(1) 平成30年度総会議案について
(2) 総会に向けた確認事項について
(3) 事業採択案件
○ 第2回県内経済活性化セミナーの開催について

【第2回】

期 日：平成30年7月20日（金）

場 所：千葉県経営者会館2F 特別会議室

- 議 題：(1) 幹事長の選任について
(2) 報告案件
① 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー
② 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー
(3) 事業採択案件
○ ユニバーサルツーリズムの促進

【第3回】

期 日：平成30年10月3日（水）

- 議 題：(1) 協議事項
○ 協議会運営について
(2) 事業採択案件
① アジア経済圏におけるマーケティング

- ② アクティビティ（体験型）商品開発
- ③ 将来的な人材育成を行うための調査・検討
- ④ 県内観光情報・成田空港の魅力発信
- ⑤ 空港利用促進PR
- ⑥ 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望
- ⑦ 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ⑧ 航空/空港関連企業との商談会

【第4回】

期 日：平成30年12月18日（火）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）事業採択案件

- ① アジア経済圏におけるマーケティング
- ② 新ビジネス創出に向けたコンテスト事業
- ③ ランドオペレーターとの商談会

（2）報告案件

- ① 第3回県内経済活性化ビジネスセミナー
- ② 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

【第5回】

期 日：平成31年3月27日（水）

場 所：千葉県経営者会館2F特別会議室

議 題：（1）幹事長の選任について

（2）報告案件

- ① 航空/空港関連企業との商談会
- ② ランドオペレーターとの商談会
- ③ ユニバーサルツーリズムの促進
- ④ 空港利用促進PR

（3）協議事項

- ① 2019年度事業計画（素案）について
- ② 2019年度総会次第（素案）について

（4）事業採択案件

- 航空/空港関連企業との商談会